



**厄除け橋** 平成二十二年四月に新しく完成、アーチ形の石橋で厄除観音水間寺の象徴となっている。

## 水間寺の由来

水間寺は、奈良時代に聖武天皇の勅願によって、行基菩薩が開創されたお寺で、ご本尊は、一寸八分(約6cm)の聖観世音菩薩です。天平十六年(七四四年)聖武天皇が四十二歳のとき、ご病気にかかられ、そのとき夢のお告げがあり、「この奈良の都より西南の方角に観世音菩薩がご出現なされる」とのこと。すぐに行基菩薩に勅命をもって、この仏像を探すように命じられたのです。行基菩薩は、夢のお告げに従いこの地を訪れたところ、十六人の童子が現れ、導かれた瀧の辺りで白髪の仙人にお会いになりました。その仙人が行基菩薩に聖観世音の尊像を手渡しになり、己は龍となって昇天したと寺記に記されています。そして直ちにこの尊像を聖武天皇に捧げたところ病はたちまち全快されたのです。聖武天皇はこの仏像を現地にお祀りするようにとの勅命を下し、行基菩薩は、この水間の地にお堂を建立したのがこの水間寺の創建です。これまで天災、戦乱等幾多の苦難を乗り越え、現在厄除観音として広く庶民にも信仰されています。

*ご詠歌* みなかみは 清き流れの水間寺 願う心の底は濁らじ



## 行基菩薩像

当山を創建された行基菩薩様のお像で、奥の院の行基堂にお祀りして安置されている。

## ■祈禱敵修(年中無休)

- 厄除開運・交通安全
- 商売繁昌・家内安全
- 病氣平癒・身体健康
- 無病息災・学業成就
- 心願成就・安産祈願
- 宮まいり・七五三
- 良縁祈願

場所・本堂



## 本堂(貝塚市指定文化財)

天正十三年(二五八五年)の兵火(豊臣秀吉の根来攻め)と天災により焼失。現在の建物は、文政十年(二八二七年)岸和田城主岡部長愼公により再建されたものである。

## 千本餅つき

(貝塚市指定無形文化財)

この行事は、当山に古来より伝わる唯一の行事で、毎年正月二日及び三日に行われる。ご本尊の聖観世音菩薩の出現を祝い、行基菩薩が、先導された十

六童子と共に木の棒で歌に合わせた餅をつき、ご本尊にお供えしたのが厄除け餅の始まりで、以来今日まで伝えられている。



交通安全祈禱後の車の御加持風景

## 愛染堂

縁結びの仏様の愛染明王を祀るお堂で、その前庭の横に身分の違いを乗り越え、結ばれたお夏・清十郎の墓がある。



## 経堂

兵火に遭って焼失後、「大般若波羅密多経」六百巻と「大藏経」等が納められている。



## 護摩堂(貝塚市指定文化財)

不動明王を祀るお堂で、病氣平癒、心願成就を祈って、毎月十八日に護摩供養を行っている。